

## 令和元年度「目標達成のための具体的施策」進捗状況

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
1 区民を対象とした普及啓発・協働の推進	(1) 情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 冊子・リーフレット・チラシの作成、配布 ごみと資源の分け方・出し方 (保存版、簡易版、4か国語版) Bunkyo ごみダイエット通信 (A4判(両面)、新聞折込版、町会向けB4判(片面)) 小学生を対象とした食品ロス削減啓発チラシ リサイクル推進協力店リーフレット                      登録店舗数    39 店舗 ぶんきょう食べきり協力店パンフレット                  登録店舗数    47 店舗 エコ先生の特別授業リーフレット                          登録講座数    11 講座</li> <li>● 区報を活用した主な周知・啓発事業 3R推進月間「文京エコ・リサイクルフェア」開催、水銀含有物の回収方法の変更、チャットボットを使ったごみ分別案内サービスの開始、ごみの捨て方・分別方法</li> <li>● CATV を活用した主な周知・啓発 フードドライブ、文京エコ・リサイクルフェア、チャットボットを使ったごみ分別案内サービス、ごみと資源の捨て方・分別方法、水銀含有物の回収方法の変更、携帯電話・スマートフォンの回収</li> <li>● チャットボットによるごみ分別案内サービス(令和2年3月31日時点) アクセス数                      22,376 件 LINEのお友達数                      781 人 LINEによる情報提供                      19 回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幼い頃より、リサイクルや環境問題に関心を持ってもらうために、小中学生向けに解りやすく読みやすい記事の掲載に努めるとともに2Rに関するクイズなどを取り入れて若年層への普及啓発を行う。</li> <li>● 令和2年7月から開始されたレジ袋有料化等のプラスチックごみ削減に向けた動きを受けて、区内店舗でプラスチックごみ削減に取り組む店舗と連携し、さらに普及啓発を行う。</li> <li>● 「リサイクル推進協力店」・「ぶんきょう食べきり協力店」の店舗数の拡充を図るため、文京区商店街連合会や食品衛生協会に働きかけるとともに、区内店舗への勧誘も引き続き実施する。</li> <li>● 普及啓発活動の場を広げるため、他の部署主催のイベント等とも連携し、2Rや食品ロスに関する啓発資料を配布する。</li> </ul>

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
<p>1 区民を対象とした普及啓発・協働の推進</p>	<p>(2) イベント等の開催や環境学習の場の提供</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各イベント・講座等の実施状況</li> <li>【文京エコ・リサイクルフェア】 11月30日(土) シビックセンター内で実施 19団体出展、来場者約600名 (令和元年度より、会場を従来の教育の森公園からシビックセンター内に 変更、カウントの仕方も変更したため、平成30年度以前と比較することは できない。)</li> <li>【ステージ・エコ】</li> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フリーマーケット 区民ひろば4回開催(5月25日(土)、7月13日(土)、 9月6日(金)、11月30日(土)) 出店数 延べ107店</li> <li>・リユース子ども服と陶磁器の無料頒布会(フリーマーケット無) 2月14日(金) 参加者220人 出品数931点 頒布数918点</li> </ul> <li>【リサイクル推進サポーター養成講座】 5月15日(水)～6月12日(水) 全5回、受講者12名 講師 リサイクル清掃課長 工場見学 北清掃工場 講師 森田 満樹 氏(一般社団法人 FoodCommunicationCompass) 講師 中村 俊夫 氏(株式会社リネットジャパン) 講師 鬼沢 良子 氏(NPO法人 持続可能な社会をつくる元気ネット)</li> <li>【団体育成支援バス見学会】 8月21日(水) 見学先 協栄産業グループ ジャパンテック(株) 宇都宮工 場・えこっくる江東 参加者28名</li> <li>【団体育成支援公開講座】 2月26日(水)「まだ間に合う!海洋プラスチックごみの減らし方をみんな で考えよう!」 講師 中井 八千代 氏(容器包装の3Rを進める全国ネットワーク運営委員 長)を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</li> <li>【モノ・フォーラム】 1月24日(金)「食品ロス削減講座「もったいない」だから「捨てない」「残さ ない」」 講師 上村 協子 氏(東京家政学院大学教授) 受講者26名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ごみや環境への関心が低い区民に対し、イベン トなど様々な機会をとらえて、3Rや資源の分 別について、啓発を行う。</li> <li>● 天候に左右されることなく安定的に運営する ため、文京エコ・リサイクルフェア及びステー ジ・エコを屋内開催とした。引き続き、来場者 数を確保できるよう周知に努めるとともに、参 画団体の見直しなど企画内容を工夫する。</li> <li>● 地域で活動していただくサポーター数を増や すため、周知・啓発、養成講座の充実・改善を 図る。</li> <li>● 効果的な講座を提供するため、対象者を明確に し、各種講座のテーマが重ならないよう調整を 図る。</li> <li>● より多くの方に学びの場を提供できるよう区 内大学・消費生活推進員その他区民団体など、 幅広く周知する。</li> </ul>

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
1 区民を対象とした普及啓発・協働の推進	(2) イベント等の開催や環境学習の場の提供	<p>【エコ先生の特別授業】 7回実施 受講者 延べ266名</p> <p>【集団回収実践団体バス見学会】 10月23日(水) エフピコ関東リサイクル工場、アサヒビール茨城工場 見学者39名</p> <p>【ふれあい講座】 区立小学校16校、筑波大学附属小学校、都立文京盲学校で実施。 受講者 延べ1,267名</p> <p>講座にて、小学生を対象とした食品ロス削減啓発チラシを配布 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再掲</span></p> <p>【子ども用品とりかえっこ～衣類の無料交換会～】 6月1日(土) 参加者322家族、出品数4,425点 交換数3,107点 10月19日(土) 参加者255家族、出品数3,715点 交換数2,546点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● クールアースフェア（環境政策課主催）に出展 7月5日(金) エコ資源の回収、フードドライブ、ごみ分別クイズ</li> <li>● 子育てフェスティバル（子育て支援課主催）に出展 9月1日(日) フードドライブ、子ども服無料頒布会（6月の子ども用品とりかえっこにおいて交換されなかった衣類の頒布） 参加者153家族、出品数1,001点、頒布数625点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● エコ先生の特別授業について、新規講座として登録した講座を利用してもらうため、周知を行う。</li> <li>● 普及啓発活動の場を広げるため、他の部署主催のイベント等と連携し、3Rや食品ロスに関する啓発資料を配布する。</li> </ul>
	(3) 地域活動団体等との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Bunkyo ごみダイエット通信を町会へ配布 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再掲</span></li> <li>● ステージ・エコや文京エコ・リサイクルフェアにリサイクル・環境団体が出展し協働して3Rの普及啓発を実施</li> <li>● 団体育成支援「バス見学会」をリサイクル活動団体と協働で実施 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">再掲</span></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域活動団体、リサイクル・環境団体と連携し、引き続き3Rの普及啓発に取り組むとともに、情報発信や社会貢献の場として活動をしてもらうため検討する。</li> </ul>

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
2 普 事 及 業 啓 者 発 を ・ 対 協 象 働 と の 推 推 進 進	(1) 情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 延べ床面積 1,000 m<sup>2</sup>～3,000 m<sup>2</sup>未満の事業用中規模建築物を対象とした立入検査や廃棄物管理責任者への講習会、自己のごみの種類や量の把握方法の周知、等を通じ、廃棄物の適正処理と減量に関する事業者責任の周知徹底及び指導を行った。</li> <li>・ 対象件数 337 件</li> <li style="padding-left: 20px;">再利用計画書提出件数            302 件</li> <li style="padding-left: 20px;">事業用建築物立入検査件数        97 件</li> <li style="padding-left: 20px;">廃棄物管理責任者参加人数        40 人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 立入検査で先進的な取組をしている事例を紹介したり、講習会の中で啓発用 DVD を活用したりして、事業者の適正処理とごみ減量を促進する。</li> </ul>
	(2) 事業者との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食品ロス削減に取り組む店舗を増やすため、商店街連合会、食品衛生講習会、区内大学地域連携担当者会議等を通して事業者に働きかけた。結果、47 店舗の登録となった。(令和 2 年 3 月末時点)</li> <li>● 区内の 39 店舗に対し「リサイクル推進協力店」の登録を行った。(令和 2 年 3 月末時点)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食品ロス削減に取り組む店舗を更に増やすため、商店街連合会、食品衛生講習会、区内大学連携担当者会議等を通して事業者に働きかける。</li> <li>併せて、事業者と連携した「食品ロス削減キャンペーン」実施について検討する。</li> </ul>

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
3 家庭系の3Rの推進	(1) リデュース (発生抑制)の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「フードドライブ」の実施 未利用食品を回収し、フードバンクに寄付を行うフードドライブをイベント時及びリサイクル清掃課窓口にて常時回収を実施した。 合わせて平成31年4月から自宅訪問回収サービスを開始した。 イベント・窓口・自宅訪問回収 食品回収量 約913kg(令和2年3月末現在)</li> <li>● レジ袋削減・マイボトル持参の啓発</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食品ロスの削減をテーマとする講演会等の開催やイベント時に実施するフードドライブを通して食品ロス削減の周知・啓発を行い、発生抑制を推進する。</li> </ul>
	(2) 生ごみ減量活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【コンポスト化容器の斡旋】 3基斡旋（地上型1基、ベランダ型2基）</li> <li>● 【生ごみ減量講座】 春季 5月17日(金)「生ごみ腐葉土の作り方・使い方」 受講者18名 秋季 11月8日(金)「生ごみ腐葉土の作り方・使い方」 受講者21名</li> <li>● 【エコ・クッキング教室】 親子対象 7月25日(木) 小学1・2年生 受講者11組 7月26日(金) 小学3～6年生 受講者11組 一般対象 12月5日(木) 受講者21名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コンポストの需要が年々減少する中、家庭用生ごみ処理機等、他の手段の導入も研究していく。</li> <li>● 生ごみ減量講座の受講者の更なる開拓に向け、周知方法を検討する。</li> <li>● 生ごみ減量講座やエコ・クッキング教室で、食品ロスについても啓発を図り、生ごみの減量につなげていく。</li> <li>● エコ・クッキング教室について、受講者アンケートより集約した意見要望により、参加費用の検討、講座内容や募集方法の見直しを図る。</li> <li>● 新たな委託事業者の開拓を検討する。</li> </ul>
	(3) モノを長く使うライフスタイルの促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ステージ・エコ等でおもちゃの病院を開設し、故障したおもちゃ類の無料修理を実施した。 全4回 延べ80件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● おもちゃの病院のPRを強化した結果、認知度が上がり毎回盛況である。引き続き周知を図りリユースの促進を図る。</li> </ul>

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
3 家庭系の3Rの推進	(4) リユース（再使用）の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【ステージ・エコ】フリーマーケット・リユース子ども服と陶磁器の無料頒布会の開催 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">再掲</span></li> <li>● 【フードドライブ】 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">再掲</span></li> <li>● 【子ども用品とりかえっこ～衣類の無料交換会～】 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">再掲</span></li> <li>● 子育てフェスティバル（子育て支援課主催）にて、子ども服無料頒布会 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">再掲</span></li> <li>● 区内のフリーマーケット・バザーの開催情報をHPに掲載 5件</li> <li>● リサイクル推進協力店の各店舗の取組情報やPRポイント等をHPに掲載 39店舗</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 区内のフリーマーケット・バザー情報について、引き続きHPの掲載を行うとともにステージ・エコ実行委員への情報提供やステージ・エコ会場にて広報誌等の掲示を行う。</li> <li>● リサイクル推進協力店の周知を図るため、リーフレット等をイベントで配布する。</li> </ul>
	(5) 集団回収の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 集団回収実践団体への報奨金や作業補助用具の支給、回収実績が優良な団体に対する感謝状贈呈などを行い、集団回収のさらなる拡充と活動の支援に努めた。</li> <li>● 集団回収に関する記事を掲載した Bunkyo ごみダイエット通信（6月・12月）を配布し、多くの区民に周知を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 集団回収実践団体に対し、引き続き支援を行う。</li> </ul>
	(6) 資源回収の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資源の持ち去り対策のため、清掃職員によるパトロールや警察（富坂）と連携し、取締りを行った。</li> <li>● ステージ・エコイベントで小型の金属類・水銀使用計器類の回収を行った。また、水銀使用計器類については、リサイクル清掃課窓口で通年回収を行った。</li> <li>● メダルプロジェクトは平成31年3月31日をもって終了したが、引き続きリサイクル清掃課に回収ボックスを設置し、携帯電話・スマートフォンの回収を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 資源の持ち去り対策について、効果的な連携のあり方や対策等について、各関係機関と検討していく。</li> <li>● 小型の金属類・水銀使用計器類の回収は、現在の回収方法を継続するとともに周知活動を行っていく。</li> <li>● 携帯電話・スマートフォンに含まれる金属等の貴重な資源を取り出し、有効活用する。</li> </ul>

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
4 事業系の3Rの推進	(1) 大規模事業所の3R推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 延べ床面積 3000 m<sup>2</sup>以上の事業用大規模建築物の所有者を対象に、1年間の実績報告となる再利用計画書の提出や事業用建築物立入検査、廃棄物管理責任者への講習会等を通じて、3Rと適正処理の推進を働きかけた。</li> <li>・ 対象件数 301 件</li> <li style="padding-left: 20px;">再利用計画書提出件数            302 件</li> <li style="padding-left: 20px;">事業用建築物立入検査件数        97 件</li> <li style="padding-left: 20px;">廃棄物管理責任者参加人数        62 人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全国的に事業系ごみの不適正処理事例が後を絶たず、23区においても東京二十三区清掃一部事務組合の清掃工場への不適正搬入が頻繁にあるため、事業者責任を徹底するよう引き続き働きかけていく。</li> </ul>
	(2) 小規模事業所の3R推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Rサークルオフィス文京や印刷製本組合に対して資源の回収袋を支給し、支援を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 今後もRサークルオフィス文京や印刷製本組合に対しては、支援事業を継続する。</li> </ul>
	(3) 区の率先した取り組みの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 庁内各課に Bunkyo ごみダイエット通信を配付し、職員全体への周知・啓発を行った。</li> <li>● プラスチック廃棄物の排出抑制について、区が主催する会議におけるペットボトルによる飲料提供の自粛などについて、庁内電子掲示板等を通じて職員全体への啓発を行った。</li> <li>● 3010 運動、宴会五箇条など食品ロスの削減について庁内電子掲示板で啓発を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プラスチックごみ削減に向けた発生抑制の啓発を実施する。</li> <li>● 食べ残しなど、食品ロス削減に向けた啓発を実施する。</li> </ul>

大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
5 適正処理の推進	(1) 適正な収集体制の維持	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者等を対象とした訪問収集、防鳥ネットの貸出、動物死体の処理などの事業につき、引き続き実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● この事業については、全体的に浸透してきており、今後も効率的かつ効果的な運営に努める。</li> </ul>
	(2) 区で収集しない廃棄物への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 家電リサイクル法対象機器やパソコン、事業者等が自主回収をしている品目については、事業者への引き渡しについて周知を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 家庭用パソコンへの対応については、宅配便を活用した小型家電の回収を行っている事業者と引き続き連携を図る。</li> </ul>
	(3) 適正排出の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 集積所利用事業者に対する有料ごみ処理券の適正貼付指導や、不適切な排出者に対するふれあい指導などを通じて、ごみ・資源が適正に排出されるよう働きかけを行った。 ふれあい指導 9,089件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 徐々に、ふれあい指導による効果はあらわれている。今後も適切な指導、相談業務を行う。</li> </ul>
	(4) 事業系ごみの自己処理の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 適正な収集運搬・処理処分が行われるよう、一般廃棄物処理事業者に対して、許可や更新時の指導などを行った。</li> <li>● 事業系ごみの自己処理原則の考え方を促進するため、排出事業者に対する一般廃棄物処理業者の情報提供を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般廃棄物処理業者の情報提供については、電話で随時対応する。</li> </ul>
	(5) 中間処理・最終処分	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サーマルリサイクルのほか、鉄・アルミ等の資源を回収するなど、中間処理段階でのリサイクルを行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中間処理後、東京都が管理する最終処分場において埋立処分しているが、引き続きごみの減量等により、最終処分場の延命化に努める。</li> </ul>
	(6) 災害時の対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 23区清掃リサイクル主管課長会「災害廃棄物処理対策検討会」において、災害時のし尿及び災害廃棄物に関する収集・運搬、処理・処分の協力協定について検討を行い、令和2年4月1日付けで6団体と協力協定を締結した。また、23区及び清掃一組間で災害廃棄物の共同処理等に関する協定を締結した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 23区清掃リサイクル主管課長会「災害廃棄物処理対策検討会」において、引き続き、各協定の細目等について検討する。</li> </ul>



大項目	中項目	施策の実施状況と主な成果	課題や今後の方向性
6 運営管理体制の充実	(1) 双方向の情報交換と区民参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 【リサイクル清掃審議会 第7期】 5回開催（施設見学を含む） 文京区一般廃棄物処理基本計画の進捗状況やごみ量等の報告・審議をした。文京区一般廃棄物処理基本計画改定に係る基礎調査・アンケートの結果報告と今後の課題を審議した。</li> <li>● 【リサイクル推進サポーター連絡会】1回開催（7月22日） 啓発活動の手段として「もったいない鬼ごっこ」を体験した。終了後、啓発活動について意見交換を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サポーターが主体となった3R推進活動について、具体的な活動につながるよう3Rに関する実践的な取組を継続する。</li> </ul>
	(2) 国等への要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 循環型社会形成を図るため、廃棄物処理施設整備計画に掲げられた目標達成に向け、所要の財政的措置を講ずることなどを、大都市清掃事業協議会を通じて国へ要望を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業系ごみの占める割合が高い、廃棄物処理施設の用地確保が難しいなど、特別区として大都市特有の問題も数多く抱えており、適切な役割分担と負担を引き続き国へ要望していく。</li> </ul>
	(3) 行政内部での連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境政策課の区報掲載記事「文京版クールアース・デー」において、食生活とエコについて具体的な取組を掲載し啓発を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 引き続き、各事業で関連部署との連携・協力を図る。</li> </ul>
	(4) 処理費用負担の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 23区清掃リサイクル主管課長会「廃棄物処理手数料改定検討会」において、廃棄物処理手数料原価の確認・検証を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 4年ごとの手数料見直しに向けて、「廃棄物処理手数料改定検討会」において、引き続き検討を進める。</li> </ul>
	(5) 情報の公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ごみや資源量、コストに関する情報のほか、文京区一般廃棄物処理基本計画の進捗状況についてもホームページや Bunkyo ごみダイエット通信にて公開した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業概要やホームページ、Bunkyo ごみダイエット通信等で、引き続き情報公開を行う。</li> </ul>